

# 暮らし、産業、行政などを柱に

# 北海道の新しいしくみづくりを進めています。

## 未来技術を活用した活力あふれる北海道の未来社会

### 「北海道 Society 5.0」

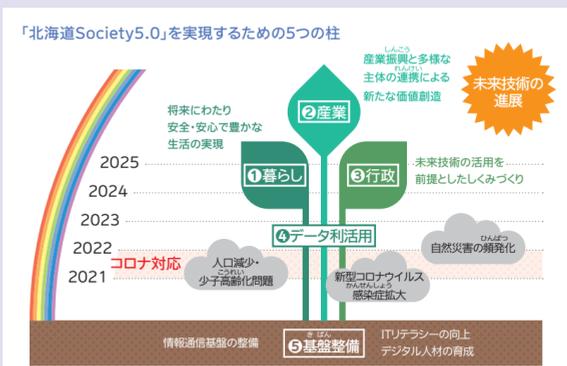
道では、概ね10年後(2030年)の北海道の未来社会「北海道 Society 5.0」の実現に向けたアクションプラン「北海道 Society 5.0 推進計画」を、ことし3月に策定しました。

この取り組みを地域課題の解決につなげるだけでなく、社会の変革を進めることにより、北海道の日々の暮らしの利便性の向上や地域の活性化、持続的な経済成長などにつなげていきます。

この取り組みを地域課題の解決につなげるだけでなく、社会の変革を進めることにより、北海道の日々の暮らしの利便性の向上や地域の活性化、持続的な経済成長などにつなげていきます。



北海道 Society 5.0 推進計画のページ



### Society 5.0とは？

これまでの狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、インターネット上のサイバー空間と暮らしや産業などの日常空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会が「Society 5.0」です。



## デジタル化を推進する道の取り組み

### 北海道 Society 5.0 推進体制の整備

道では今年度、北海道 Society 5.0 をオール北海道で推進する体制として、民間有識者や関係団体などで構成する「北海道 Society 5.0 推進会議」を立ち上げ、北海道全体のデジタル化に向け、産学官が連携して取り組みを進めています。



### Smart 道庁の取り組み

道では、2022年4月、全職員に配布するスマートフォンを使うことで、自宅などから庁内ネットワークに接続できるようになり、職員がいつでもどこでも仕事ができる環境が実現します。こうした全国に先駆けた取り組み

●特集に関するお問い合わせ/  
道庁デジタル  
トランスフォーメーション推進課  
TEL.011-204-5172

# デジタルの力で地域の新たな可能性づくりに挑戦する取り組みをご紹介します。

## 顔認証クーポンで 北後志の周遊観光に新展開



一般社団法人 赤井川村国際リゾート 推進協会 代表理事 渡邊 裕文さん

観光による地域づくりを担う一般社団法人赤井川村国際リゾート推進協会は、デジタル技術で地域を支援する道内外企業と連携し、NECの顔認証技術を使って北後志エリアの周遊観光を推進する実証実験に

取り組みました。実証実験は、8月20日から10月10日まで実施。旅行者が事前専用サイトで名前や顔写真の無料登録を行い、地域の観光施設を訪れた際に端末で顔認証をすると、割引サービスなどが受けられるしくみです。広域観光に顔認証を導入するのは道内初の試みで、同協会の代表理事・渡邊裕文さんは「旅行を楽しむお客さまと観光施設の両方にメリットが大きい」と期待を寄せます。

従来は、紙や2次元コードなどのクーポンが主流で、各施設での窓口対応が煩雑になり



観光施設に設置した端末で顔認証による受付

## 最先端のスマート農業技術で 地域の未来をつくる



岩見沢市 情報政策部 部長 萩原 信之さん

ロボットトラクターや光ファイバ網、AIなどの最先端技術を活用したスマート農業を積極的に進めている岩見沢市で、2020年から取り組んでいるのが、北海道大学やNITTグループなどと連携し、5G※

技術を活用した国内初の実証実験です。これは、複数の圃場に配置した無人走行トラクターを、遠隔地の監視センターで監視・制御しながら、農地内の倉庫から農道を走行させ、圃場へ移動後、農作業を実施させるというものです。

今後はさらに蓄積された気象条件や作業工程などのビッグデータを活用して、ロボット農機の作業精度を高めることにより、少ない人数でも品質が高くおいしい農産物を安定して生産できるしくみをつくっていきます。



無人走行トラクターを使った実証実験 ※5Gは、高速・大容量、多接続、低遅延などの特長を持った第5世代移動通信システムのこと。

岩見沢市情報政策部長の萩原信之さんは「産学官連携による最先端のスマート農業は、地域農業の持続性確保の切り札の一つとしてとらえ、社会実装に向けて今後も前進させるとともに、道内全体への普及にも貢献したい」と話しています。

## ポテンシャルを活かして 北海道をデジタル化の先導者に

日本が新しいデジタル社会として世界にしっかりと認識され、「誰一人取り残さない」デジタル化を進めるために、最もチャレンジングな地域が北海道。北海道が有する冷涼な気候や欧米に最も近いという地域特性、豊富な再生可能エネルギーといった多様なポテンシャルを活かして、北海道を日本のデジタル化の先導者にしていきます。



北海道顧問 慶應義塾大学 村井 純 教授

道では、ことし7月、「日本のインターネットの父」と呼ばれる慶應義塾大学の村井純教授に北海道顧問に就任していただきました。北海道 Society 5.0の実現に向け、専門的な立場から助言をいただいています。



サミットでは「天に続く道(朝里町)」の動画などを配信

アジア初となるアドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)が、9月20〜24日北海道を舞台に開催されました。今回のサミットは、ウィズコロナ社会の新たな形としてバーチャルでの開催となりましたが、北海道の魅力を一挙に発信しました。なお、2023年のATWSのリアル開催地に北海道が内定しています。道庁観光振興課

みとあわせ、ICTも活用した業務手順の見直しなどを行い、道民サービスの質の向上につなげていきます。

道庁改革推進課  
TEL.011-204-5002

北海道の魅力をオンラインで発信！

**マイナンバーカードが健康保険証に!**

10月からマイナンバーカードの健康保険証としての利用が始まりました。医療機関や薬局によって、利用開始時期は異なりますが、2022年度末までには、ほぼすべての機関で利用が可能となる予定です(従来の健康保険証も引き続き利用できます)。健康保険証としての利用には、事前の登録が必要です。詳しくは、厚生労働省のウェブサイトをご覧ください。

**ピックアップ! 地域情報**

北海道の各地域から話題をお届けします。

道庁ウェブサイト「北海道市町村広報紙(誌)ページへのリンク集」を開設しました。道内179市町村の広報紙(誌)をパソコンやスマートフォンから読むことができます。ぜひご利用ください。

**浦幌町**

浦幌町で全国各地のデジタル森林浴を体感!

IT技術を活用し、あたかも実際に森林の中にいるようなデジタル森林浴を体感できる「うららパーク浦幌」が、オープンしました。

5面300インチのマルチスクリーンに全国各地の自然を映し出し、風の音や天然の木々の香りなどを再現し、リラックス効果を高めます(10月から「西表島編」を上映中)。

●お問い合わせ/  
浦幌町産業課 TEL.015-576-2181  
(株)フォレストデジタル support@forestdigital.org

うららパーク浦幌

**上ノ国町**

全国初! サテライトオフィス併設のワイナリーを開設

上ノ国町は、全国初のサテライトオフィスを併設したワイナリーを開設しました(サテライトオフィスは年内開設予定)。

町内の廃校を活用し、サテライトオフィスとして、バス・トイレ付パーソナルスペース8室、グラーブーム2室、フリースペースなどを整備。ワイン産地の形成と交流人口の拡大を目指しています。

●お問い合わせ/上ノ国町水産工商課  
TEL.0139-55-2311

**新ひだか町**

全国の高校で唯一の軽種馬生産

ことしも静内農業高校では、生徒たちが出産時から1歳まで大切に育てた競走馬「星翔」がせり市場で落札され、同校の軽種馬生産が高く評価されました。

今年度からは、文部科学省の研究指定校となり、「地域創生の担い手」育成に向け、関係機関の協力による取り組みが進められています。

●お問い合わせ/教育庁高校教育課  
TEL.011-204-5705

**祝! 世界文化遺産登録 北海道・北東北の縄文遺跡群**

ことし7月、北海道・青森県・岩手県・秋田県に所在する「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録が決定しました。

自然と共生しながら1万年以上も続いた縄文文化には、持続可能な地域社会の実現を目指す私たちにとって、学ぶべき貴重な示唆が多くあり、縄文遺跡群は未来に継承すべき大切な「宝」です。

縄文遺跡群の適切な保存・活用に取り組むとともに、「世界の宝」として認められた普遍的な価値と魅力を国内外に向けて積極的に発信し、関係自治体などとも連携して観光振興や地域経済の活性化につなげていきます。

●お問い合わせ/道庁縄文世界遺産推進室  
TEL.011-204-5168

**新型コロナウイルス感染症対策**

※10月4日時点での情報をもとに記載しています。最新情報は道のウェブサイトをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症に関する最新情報はこちら▶

**ワクチン接種をご検討ください**

ワクチンには、新型コロナウイルス感染症の発症予防、重症化予防などの効果が認められています。

まだ接種を受けていない方は、大切な方と自分自身の健康と命を守るため、ワクチン接種をご検討をお願いします。

インターネットやSNSでは、「接種が原因で多くの人が亡くなっている」「不妊や流産の原因になる」など、ワクチン接種についてさまざまな誤った情報が広がっていますが、右記のホームページなどを参考に、科学的根拠や信頼できる情報源に基づき正しい情報によりご判断ください。

**新型コロナワクチンは、12歳以上の方が接種できます(接種費用は無料)**

接種の予約・手続きの方法などはお住まいの市町村にご相談ください。

**ワクチン接種のメリットとデメリット**

〈メリット〉

- 大切な方と自分自身の健康と命を守る
- 地域におけるウイルスへの防御を高め、安全で安心感のある社会生活・学校生活を送ることができる
- 変異ウイルスの発生確率を減らすことができる

〈デメリット〉

- ワクチン接種後、発熱などの副反応やアナフィラキシー(急性アレルギー反応)が発生することもある

道ワクチン情報ページ

ワクチンの副反応などに関する相談窓口

**接種後も感染防止対策が必要です**

ワクチンには、感染予防効果も示唆されていますが、接種によって感染を完全に防ぐことまではできません。そのため、接種を終えた後も、引き続き、3つの密(密閉・密集・密接)の回避、マスクの着用、手洗いや手指消毒、食事のときは少人数・短時間で会話はマスク着用といった基本の感染防止対策の徹底をお願いします。

**ワクチン差別はやめましょう**

体質や持病などさまざまな理由でワクチンを接種することができない人、接種を望まない人もいます。ワクチン接種を受けないことによる差別や不当な対応がないよう、十分な配慮をお願いします。

北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター  
**0120-306-154** 受付時間: 9:00~17:30(平日、土・日曜、祝日)